

経営比較分析表（令和5年度決算）

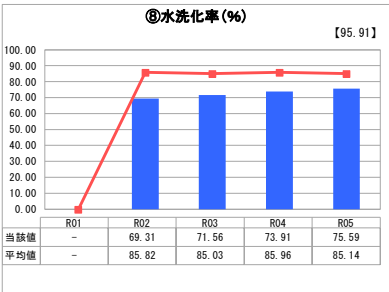
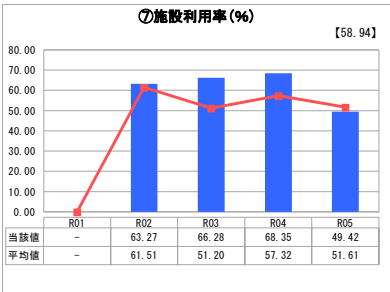
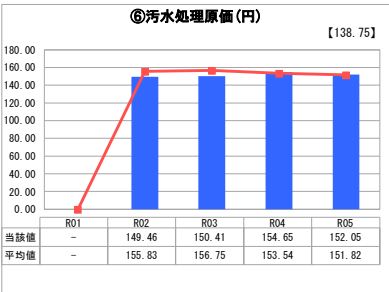
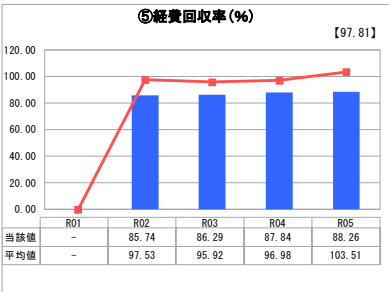
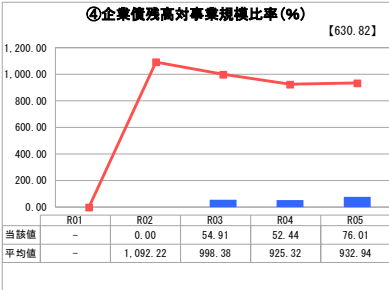
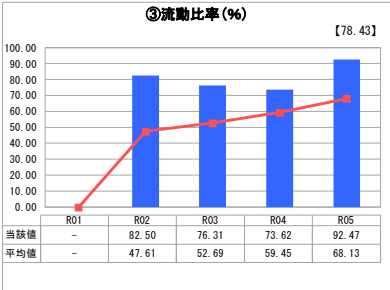
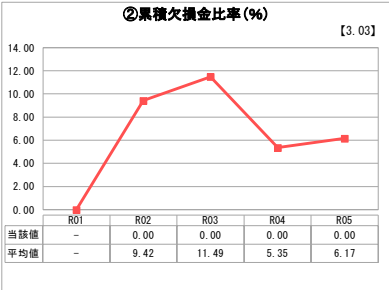
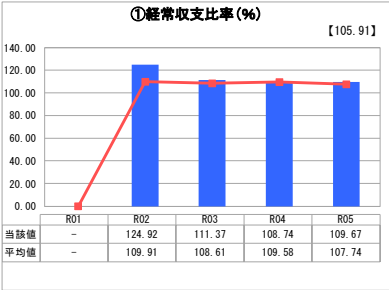
愛知県 常滑市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bd2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	64.44	55.38	91.74	1,705

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
58,621	55.90	1,048.68
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
32,497	11.83	2,747.00

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経営状況として、①経常収支比率は109.67%と黒字となっており、前年度及び類似団体平均値と同程度の黒字幅となった。電気料等の維持管理費の減少により⑥汚水処理原価が低下し、⑤経費回収率は前年と比べて上昇したものの、引き続き類似団体平均値を下回った。今後は大口需要家からの使用料収入の状況を注視するとともに、接続促進等によって有収水量の増加を図り、収支の改善を目指す。

財政状態として、③流動比率は100%を下回っているが、前年度と比べて上昇した。建設改良費等に充てられた企業債の償還は翌年度の収入によることを予定しており、類似団体平均値と比べても余裕がある比率となっている。④企業債残高対事業規模比率は、企業債残高のうちほぼ全額を一般会計が負担する見込みであるため低い値となっている。

⑦施設利用率は、水処理施設の増設に伴って低下し、類似団体平均値を下回った。

⑧水洗化率については、整備後の年数が浅い地域もあり、類似団体平均値と比べて低い値となっているが、前年度と比べると1.68ポイント上昇している。令和5年度より、浄化槽等を使用する既存建物の接続に対する報奨金制度を創設し、接続の促進を図っている。区域内人口の増加と接続促進の取り組みを合わせて行い、水洗化率の向上、有収水量の増加、使用料収入の増加を図る。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は、令和2年度に地方公営企業法を適用したため、4年目である令和5年度は令和2年度の約4倍となった。

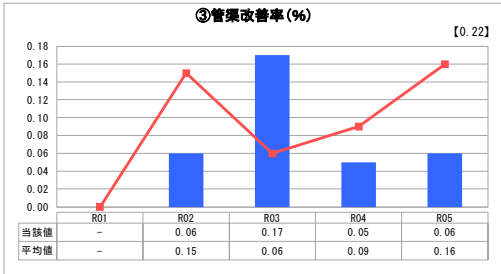
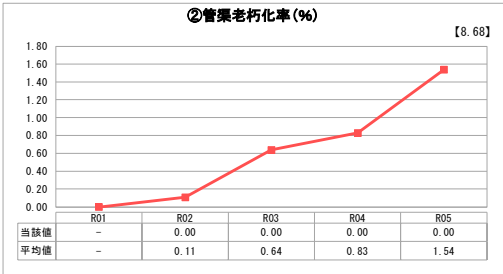
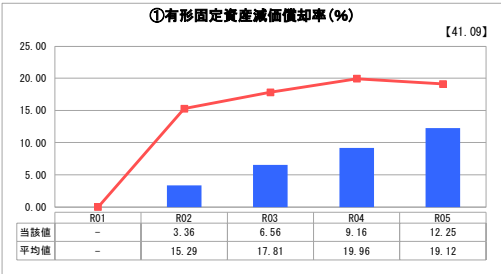
③管渠改善率は、類似団体平均値と比べて低い値となった。空港島、りんくう地区及び市街地の一部にハイセラミック管が埋設されているため、平成29年度にカメラ調査を行い、計画的に内面補修と管更生を実施している。なお、令和3年度における管渠改善率の上昇は、雨水管の布設替を実施したためである。

全体総括

供用開始が平成13年度と公共下水道の歴史としては浅いが、終末処理場の機器・施設類は順次更新時期を迎えるとともに、毎年度の整備によって処理区域が拡大しており、維持管理費が増加傾向にあるため、効果的、効率的な維持管理に努める必要がある。

水洗化率については、接続報奨金制度の創設によって向上に取り組んでおり、徐々に有収水量及び使用料収入の増加につながるものと見込んでいる。今後は、こうした課題を十分整理した上で、経営戦略を活用して持続的かつ安定的な経営基盤の強化に取り組んでいく。なお、平成28年度に策定した経営戦略については、令和2年3月に改定を行っており、次回は令和7年3月に改定を行う予定である。

2. 老朽化の状況



※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。